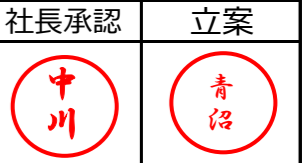


2022年度 京都センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生管理 活動計画書

作成日 2022年3月15日



2022年度 京都センコー運輸株式会社 安全品質環境衛生指針及び目標

【センコーグループ安全品質方針・目標】

「全てに優先する安全」の精神の下、新規参入会社も含めた全従業員が、持続可能な物流事業の安全基盤確立に向け
 ◎センコー流安全活動の革新に取り組み、安全リスク撲滅に向けた安全シナジーの創出、システム活用による
 予防措置の実践と安全活動の見える化、安全先進技術導入による職場環境の改善、教育方法の革新を行い、
 コンプライアンスを超えた安全水準を確立している。
 ◎危険品事業拡大に向け管理体制を拡充し、ローリスク物流サービスを提供できる体制を整え、事業拡大に
 寄与している。

1. 中期安全目標

※2026年度 度数率（道路上事故・休業4日以上労災）2021年度の25%低減

◎ 車両事故

道路上 車両事故度数率	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	増減率(対2021年度)
センコー	0.366	0.348	0.329	0.311	0.293	0.275	-25%
Sk管下グループ	0.710	0.675	0.639	0.604	0.568	0.533	-25%
全体	0.616	0.585	0.554	0.524	0.493	0.462	-25%

◎ 労働災害

休業4日以上 労働災害度数率	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	増減率(対2021年度)
センコー	1.450	1.378	1.305	1.233	1.160	1.088	-25%
Sk管下グループ	1.75	1.633	1.575	1.488	1.400	1.313	-25%
全体	1.658	1.575	1.492	1.409	1.327	1.244	-25%

2. 中計目標

- ◎ 車両事故 ゼロ ※具体的指標：道路上の車両事故度数率（0.675）
- ◎ 労働災害 ゼロ ※具体的指標：休業4日以上の労働災害度数率（1.633）
- ◎ その他 ・各種点呼の完全実施 ・残酒反応 ゼロ

品質	重大品質事故「ゼロ」 (事故件数、貨物事故立替金等は各支店単位で設定する)
CS推進との連携	改善指導事項の改善推進チェックと指導

【センコーグループHD 環境方針・目標】(仮)

- HD環境データのガバナンス強化・軌道化【EcoTrack導入(2022年4月～)】
・EcoTrack導入(データ正確性整合性向上・効率化)と部門主導の環境施策・CO₂削減施策推進
- HD全体の廃棄物管理のコンプライアンス強化【Pbasis切替導入(2022.10月～)】
・排出事業者(全グループ企業)契約管理精査・運搬事業者(運輸系各社)コンプラ強化
- HD環境データを活用した「有効な環境広報戦略推進」※CO₂削減原単位指数
・CDP/東洋経済等メディア対応/IRアプローチ/脱炭素施策・成果の効果的広報
・社内CO₂削減目標

【中核センコーグループ 環境方針・目標】(仮)

- 環境施策の具現化・取り組み強化
・Scope1⇒省燃料(環境対応車両)・再生エネルギー
・Scope2⇒電力再エネ化・環境対応設備導入
・Scope3⇒廃棄物管理強化・LPガス削減・更生タヤなど
・社内CO₂削減目標

【センコーグループ衛生方針・目標】

従業員一人ひとりが心と体の健康を増進し、個性を活かしながらパフォーマンスを発揮できる状態をつくる

実行施策項目
 1.健康リテラシーの向上(当部企画セミナーへの参加率向上)
 ①ランニングセミナー
 ②女性セミナー
 ③生活習慣病予防セミナー
 2.心と体の健康保持増進
 ①健やか体操の推進(朝礼・業間・在宅勤務者・未実施部門)
 ②各エリアで計画した健康増進活動の実施
 3.ワークエンゲージメントの向上
 ①ストレスチェック受検率の維持向上
 ②集団分析結果による職場環境改善
 ③ハラスメント知識の向上
 4.健康管理体制の強化
 ①保健指導強化のための環境整備(Web指導環境及び業務記録の徹底)
 ②看護職教育の向上(外部機関の有効活用、専門職による会議の実施)
 ③健康推進担当者の教育(健康推進部企画の教育セミナーに参加)

方針
 全従業員の心と体の健康を増進し、生き生きとパフォーマンスが発揮できる、基盤づくりを目指す

目標
 1.健康リテラシーの向上(理解し活用する)
 2.心と体の健康保持増進
 3.ワークエンゲージメント(熱意・活力)の向上
 4.健康管理体制の強化

【会社安全指針・目標】

従業員が安心して安全に業務を遂行する為に、車両事故・労働災害を予防する取り組みを行う。営業所長管理者が中心となり、徹底した三現主義で安全活動を展開し、会社安全目標を必達する。2023年度は新中計初年度であり事業拡大に伴う増車、増員に対し安全を最優先した取り組みで安全面から初年度経営目標達成に寄与する。

1. 目標

1) 車両事故 ゼロ(協力会社含む) 重点目標：対交通弱者事故の撲滅
 2021年度4件の車両事故を発生させた。内1件は左折時に自転車巻き込みによるものであった。車両事故は絶対発生させないとの強い意志で取り組むが、とりわけ交通弱者(高齢者、子供、歩行者、自転車)を巻き込む事故は会社の安全に対する信用失墜に繋がる事を意識して取り組む。

2) 労働災害 ゼロ(派遣会社含む) 重点目標：カゴ車使用時の事故撲滅
 2021年度労災発生は無かったがSKグループで多発したカゴ車使用時の労災は当社でもリスクの高い業務である。特に構内作業ではパート、派遣社員等がカゴ車を扱う事が多い為ルール設定とその厳守を徹底する。

3) その他
 ・安全管理システムの完全運用 ・事業所の各チーム毎 リスクアセスメント低減 1テーマ/半期実施
 ・残酒反応 ゼロ

【会社品質指針・目標】

『全てのお客様に満足して頂く』ことがサービスの基本であると再認識し、物流品質を永続的に向上させるために顧客ニーズの実現を目指した活動を確実に、迅速に行う。

1. 重大品質事故目標 ゼロ継続
 重点項目：①現場系の「誤」のつく事故及び盗難・紛失事故発生時の撲滅
 ②運行及び配送時マナークレーム発生未然防止

2. 物流品質事故削減目標
 1-1) 倉庫内事故件数 前年度比10%削減 100件⇒90件
 1-2) 量販事故件数 前年度比20%削減 13件⇒10件
 2) 配送(路線)業者事故件数 前年度比10%削減 12件⇒10件
 3) 事故費削減 前年度比10%削減 事故費1,919千円⇒1,727千円
 4) 2立替金削減 前年度比10%削減 立替金 4,992千円⇒4,493千円
 3. CS評価(各職場単位) 2021年度100満点維持

【会社環境指針・目標】

サステナブル経営を推進し、ステークホルダーとの信頼を築き企業価値を最大限高める

(目標)
 1.コンプライアンス
 1) 産廃マニフェスト交付実績(4/1~3/31分)の行政報告(6/30締切)
 2) 水銀灯使用製品産業廃棄物(水銀灯・蛍光灯)に対する措置追加
 (水銀製品産業廃棄物への対応可能業者と契約、マニフェストへの明記、分離保管と表示)
 3) 業務用空調・冷蔵・冷凍機器点検(簡易:3ヶ月、定期:3年)⇒ロストコストを考えた代替え推進
 2.省燃料…(環境車・アイドリングストップ)燃料消費量削減 前年度比 ▲2.5% (477730ℓ/km⇒465786ℓ/km)
 3.省電力…電力「見える化」と無駄のない電力使用 前年度比 ▲2.5% (500千kWh⇒487
 4.資源循環…廃棄物減量 前年度比 ▲3.0% (83.5t ⇒
 …リサイクル率向上 前年度比 1.0%向上(% ⇒%以上)

5.その他…職場単位での環境取組み推進(ライトガリ、廃棄物削減、植樹・環境保全)
 【会社衛生指針・目標】

従業員とその家族が日々心身の健康を保ち、元気で活力に溢れた豊かな職場から、確かな信頼と満足創造する『健康企業集団』を目指す。

1) 健康診断の100%受診(定期/深7)2022年度100%受診 100.0%
 2) 有所見者率低減 前年比5%低減 31.5%
 3) ストレスチェック受診率向上 2022年度100%受診 100.0%
 4) 喫煙率低減 前年比10%低減 11.4%

2021年度の振り返り(2022年2月28日時点)

1.安全・品質・環境・衛生活動結果

① 車両事故

	トラック/トラクタ 台数	①年間 総走行距離	車両事故 件数	②内) 道路 上事故件数	度数率 (②/①*100万)	達成状況
会社	66	2,011,807	4	4	1.99	未達成
協力会社	17	—	0	0	—	達成
合計	83台	2,011,807km	4件	4件	—	—

② 労働災害

	常時労働者 数(平均)	①総労働 時間	災害件数	②休業4日 以上	度数率 (②/①*100万)	達成状況
社員	87	56,336	0	0	0.00	達成
直パート	118	24,536	0	0	0.00	達成
派遣社員	—	—	0	0	0.00	達成
協力会社社員	17	—	0	0	—	達成
合計	222人	80872h	0件	0件	—	—

③ 残酒反応結果(車両営業所のみ) 0件 達成状況 達成

④ 安全実力度評価結果(法令)

評価時の 適合率	100%	改善後の 適合率	100%	未改善	0件	達成状況
						達成

【次年度持越し課題】
 車両事故が4件発生し短社歴従業員への教育が課題である。

⑤ リスクアセスメントの実施状況

対象営業所数	3営業所	2021年度リスク特定数	8件	達成状況
				達成

⑥ 品質事故

	目標	結果	達成状況
重大品質事故	0件	0件	達成
品質事故	50件	13件	達成
事故費	2,852千円	1,919千円	達成
立替金	4,810千円	4,992千円	未達成

⑦ CS活動(トップ診断等)

	目標	結果	達成状況
	100点	100点	達成

⑧ 環境活動

	目標	結果	達成状況
電力使用量	500000kWh	504053kWh	未達成
燃費	6.00km/ℓ	6.09km/ℓ	未達成
産業廃棄物排出量	80.0t	83.5t	未達成

⑨ 衛生活動

	目標	結果	達成状況
有所見率	61.3%	41.5%	未達成
二次検査受診率	100%	82.4%	達成
喫煙率	46.7%	22.4%	達成

2.安全管理システム実施状況

	対象事業所	2営業所	運用事業所	2営業所	達成状況
①点呼システム運用					達成
②地区訓練受講者	対象者数	66人	受講者数	49人	達成
③乗務認定	対象者数	8人	実施者数	0人	未達成
④乱用薬物検査	対象者数	66人	実施者数	0人	未達成
⑤運転適性診断	対象者数	3人	実施者数	3人	達成
・基準以下3ヶ月以上	対象者数	0人	未受講者	0人	—
⑥雇入れ時教育	対象者数	37人	実施者数	37人	達成

3.社長 振り返りコメント(マネジメントレビュー)

(安全・品質・環境・衛生・CS活動結果に基づく課題)
 2021年度車両事故4件発生の内容は過去に発生させた事故と同類の事故であり、再発防止策の徹底が不十分であったと言える。管理者は対策を打つだけでなく対策の実施と定着までこだわった取組が出来ていないと言わざるを得ない。